

補助金・補助事業

平成29年度予算案における省エネルギーに関する主な補助金・補助事業です。(平成29年1月時点)
補助金などを活用することで、機器の更新にかかる初期費用を抑えることができます。

- ・省エネルギー投資促進に向けた支援補助金
- ・中小企業等に対する省エネルギー診断事業費補助金
- ・省エネルギー設備投資に係る利子補給金助成事業費補助金
- ・エネルギー使用合理化特定設備等資金利子補給金
- ・革新的な省エネルギー技術の開発促進事業
- ・トラック・船舶等の運輸部門における省エネルギー対策事業費補助金 など



なお、省エネルギーに関する補助金・補助事業などの最新情報は、経済産業省 資源エネルギー庁ホームページ「省エネルギー政策について」(URL: http://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/)にて、確認することができます。(平成29年1月時点)

運転条件の適正化

竣工時、工場や事業所の設備機器は、ピーク負荷を考慮し設定されているため、実際にはエネルギーロスが生じている場合があります。また、生産する製品や生産量の変化、建物の使い方の変化、機器の老朽化などにより、最適な運転条件は変化します。そのため、実際の設備特性に合わせた細やかな設備やシステムの運用・調整を行うことで省エネになる可能性があります。

運転条件の適正化するためには、まず、使用エネルギー量を管理、把握、評価し、改善目標を設定します。その後、改善活動を実行し、効果を確認することを繰り返し行い、最適な条件に調整します。調整後においても、定期的に見直すことが大切です。

適正化できる運転条件の項目には、以下のようなものがあります。

- ・**負荷の軽減**
例) 室内温度条件の緩和、外気量の削減、外気導入制御、外気冷房(適温外気の積極的取り入れ)、室内混合損失の改善など
- ・**機器の効率運転(熱源設備)**
例) 除湿・再熱制御システムの運用見直し、熱源運転方法の調整、熱源台数制御方式設定値の変更、燃烧機空気比の調整、蒸気ボイラ設定圧力の調整、冷温水出口温度設定値の変更、冷却水温度設定値の変更など
- ・**搬送動力の節減**
例) 冷温水量の変更(過剰流量の抑制化)、ポンプ変流量方式の改善(台数制御・インバータ制御)、冷却水量の変更、VAV方式送風温度の変更など
- ・**運用**
例) 空調機起動時刻の改善(立ち上げ時間の短縮)、ナイトパーズ(適温外気の積極的取り入れ)、間欠運転送・排風機など

省エネルギー上の問題点や建物によって異なる設備の特性

- ・負荷変動が異なる
例) 負荷条件、季節変動、設備方式、運転時間・稼働率など
- ・設計条件と使用条件が異なる
- ・機器類の選定条件と使用条件が異なる
- ・冷房時、暖房時の運用が異なる
- ・クレームやトラブルが生じる

運転条件の適正化

実際の設備特性に合わせた、
細やかな設備やシステムの運用・調整

(参考文献) 財団法人省エネルギーセンター(2007)「省エネチューニングガイドブック」
財団法人省エネルギーセンター(2008)「省エネチューニングマニュアル」(経済産業省委託事業)

エネルギーマネジメント支援ビジネス

エネルギーの最適利用を図るシステム「エネマネ(エネルギーマネジメントシステム(EMS))」を活用したエネルギーマネジメント支援ビジネスは、工場、オフィス、家庭、集合住宅、小売店など、様々な分野に広がっています。

エネマネ事業者は、省エネを必要としているものの、エネルギー管理が行えない中小ビルや小規模事業所などを対象に、既存の工場や事業場などにおける省エネ設備・システムなどの導入にあたり、EMSを導入し、使用電力量の見える化や接続機器の遠隔制御、多拠点一括管理、運用改善や設備更新のアドバイスなどを行い、省エネ活動を支援します。



(参考文献) 経済産業省資源エネルギー庁(2007)「攻めの省エネ」